

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 9 5 5 ~ 1 9 7 7	受 理 年 月 日	令 和 6 年 7 月 3 日
件 名	竹の里小学校跡地の活用		
要 旨	<p>2025年(令和7年)4月をもって京都市立竹の里小学校(以下、「竹の里小学校」という。)は、西陵中学校区の3校が統廃合されて1校になり、洛西陵明小中一貫校として開校が予定されている。一方で、学びの場として竹の里小学校は、40年を超える歴史を終えることになる。地域の住民は竹の里小学校を地域のコミュニティとして子供の育み(PTA事業)と仕事を両立して運動会、西陵文化祭、防災訓練など交流と親睦を行ってきた。</p> <p>今後、竹の里小学校は教育機関としての役割が終了し、福西地域に子供たちの通学路が延伸され、特に低学年の安心・安全面で不安なことが残る。私たち地域の住民には、子供たちを見守ることの責任があるが、高齢化と少子化の波は止めることができず、二人住まい、一人住まいが顕在化している。また、保護者の方々も共働き世帯が少なくない。中でも、一人親家庭という環境に置かれている方がいる。竹の里地域はこのように厳しい状況に置かれている。</p> <p>そこで、地域や自治会でできることは限られてくるが、市民と地域の財産として竹の里小学校跡地を子供たちの居場所や、地域のコミュニティの交流の場として有効に活用することができると考える。また、災害時には、給食室設備を活用した第1次避難所としての運用等も可能である。</p> <p>ついては、竹の里小学校の施設・設備を地域のために有効活用することを願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	文教はぐくみ委員会		